

家庭学習の手引き

2020年度版
鈴鹿市立国府小学校

家庭学習の大切さについて

小学校の学習は、将来児童が社会人として自立するための基礎となる大切なものです。そのため、学校では基礎基本をしっかりと身につけられるよう、いろいろと工夫した授業を行っています。しかし、学校で学習したことを定着させるためには、家庭での学習がとても大切です。毎日のコツコツとした積み重ねが、何年か後、大きな学力の差となって表れます。子どもたちへの保護者の方からの励ましやお褒めの言葉は、子どもたちの学ぶ意欲を大きく引き出し、伸ばします。そこで、保護者の皆様には、国府小学校の「家庭学習の手引き」をお子さんと一緒にご覧いただき、家庭学習へのご理解とご協力をお願いします。

家庭学習とは…

家庭学習で取り組む内容は、大きく分けて次の二つの内容があります。

宿題…必ず取り組むべき課題。

基礎学力を身につけることを目標とする。

自主学習…学校での学習をより深く身につけるため、自分で課題を見つけ、取り組む学習。

課題を追究する力、思考力、表現力などを養うことを目標とする。

家庭学習のポイント

- ① 毎日、続ける。
- ② 学習する時間を決める。
- ③ 学習に集中できる環境を整える。(テレビを消す、机の上を片付ける、携帯電話・スマートフォン・ゲーム機を身近に置かない など)
- ④ 学習する内容や課題を定める。

家庭学習の時間のめやす

学年×10分～15分

家庭学習をすることで…

- ① 学校での基礎学力が定着する。
- ② 規則正しい学習習慣が身につく。
- ③ 自ら学ぼうとする意欲が養われる。
- ④ 我慢強さ、根気強さ、集中力が高まる。
- ⑤ 家族に褒められることで、自信につながり、自尊感情が高まる。

【低学年(1・2年生)】

目標 「親子で一緒に！」

いろいろなことに興味をもち、どんなことでもやってみようという意欲にあふれています。褒めると喜んで取り組むようになります。しかし、自分で勉強する内容や方法を決めるのは難しいです。何をどのように勉強するかを話し合い、毎日家庭学習をする習慣が身につくよう声かけをし、たくさん褒めてあげてください。

家庭学習の方法

- ①宿題を丁寧に仕上げる。(音読・漢字・計算など)
- ②読書をする。
- ③お家の人と一緒に自主学習をする。

ひらがなやカタカナの練習・漢字の練習
・絵日記や作文・辞典や図鑑での調べ学習
・計算カード・テストの直し

【中学年(3・4年生)】

目標 「進んで学習！」

行動範囲が広がり、個性が伸びる時期です。好きなことに熱中し、自主性が出てくる時期でもあります。まだまだ親の助けが必要であるため、わからないことや困ったことがあった場合、いつでも相談にのってあげてください。温かい励ましやアドバイスが、自主的に学習する意欲を育てます。

家庭学習の方法

- ①宿題を丁寧に仕上げる。(音読・漢字・計算など)
- ②読書をする。
- ③週に1～2回自主学習をする。

漢字の練習・日記や作文・辞典、地図帳、
図鑑での調べ学習・ことわざ調べ・ローマ
字の練習・生き物や天体の観察・計算や文
章問題・新聞を読む・テストの直し

【高学年(5・6年生)】

目標 「自発的に学習！」

学習内容が難しくなり、不得意な教科が出てきたり、理解度に個人差が出たりしやすい時期です。「自分でできるから」という気持ちが強くなるので、自主性や、自発的な学習習慣を身につけるために、粘り強く見守ることも大切です。褒めることや、温かい励まし、アドバイスもしてあげてください。

家庭学習の方法

- ①宿題を丁寧に仕上げる。(音読・漢字・計算など)
- ②読書をする。
- ③毎日自主学習にチャレンジをする。

漢字の練習・日記や作文・理科、社会の調
べ学習・歴史年表づくり・百人一首の暗記
・ローマ字の復習・ニュース、新聞の感想
文・計算や文章問題・テストの直し・
苦手教科の内容の復習や、未習内容の予習